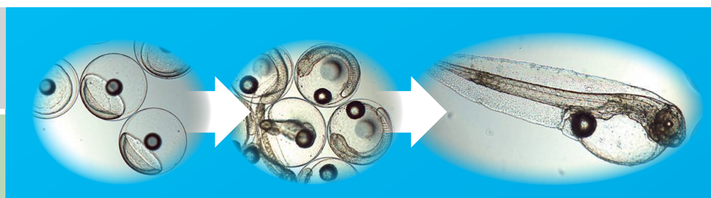
クロダイの種苗生産

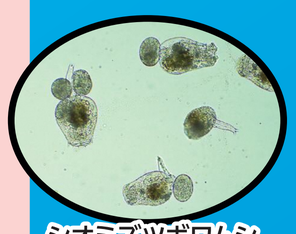
私たちが放流されるまでを見てみよう！

時期	ふ化後
5月	0日目
	10日目
	20日目
6月	30日目
	40日目
	50日目
	60日目
7月	70日目
	80日目
8月	出荷 放流



ふ化した日だよ。

動物プランクトン（シオミズツボワムシ）を給餌



シオミズツボワムシ

植物プランクトンを飼育水に添加

ポイント

水温によって卵からふ化する時間は違います。この時期は1～2日でふ化します。

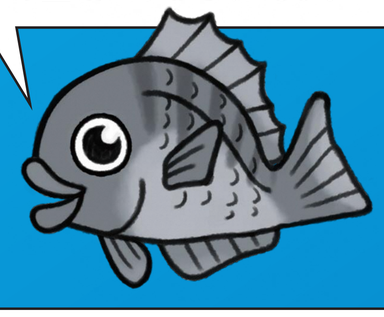
水槽内に植物プランクトンを入れる理由

- 動物プランクトンのエサとして
- 水質の安定のため
- 光をさえぎることで魚が落ち着くから

この期間は、飼育水が緑色をしています。魚を見つけられるかな？

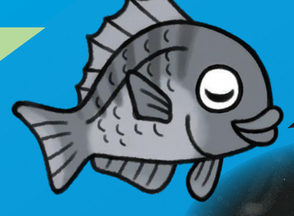
ポイント

ふ化して1週間程度は、泳ぐ力が弱いので、飼育水の循環や注水は行わないよ。職員さんが、私たちの泳ぐ力を観察したり、飼育水の水質測定の結果に合わせて、循環や注水の量を増やしてくれるよ。



動物プランクトンをエサとして与える理由

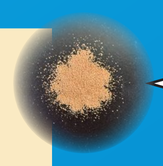
- 小さく食べやすい大きさ&動く
  → 魚の赤ちゃんは大好き！
- 飼育水の水質があまり悪くならない
  → 掃除が必要ない！
- 飼育水中に常時ただよう
  → 食べたいときに食べられる！



やっと1㎝くらいになったよ。

配合飼料の給餌

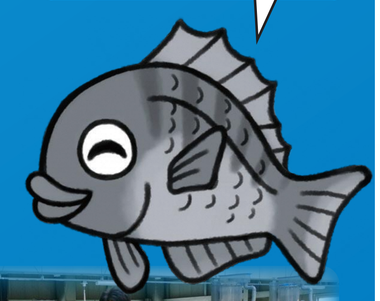
配合飼料を給餌



魚の体が大きくなってくると、配合飼料を徐々に与えて慣らしていきます。魚も段々小さな動物プランクトンより、大きな配合飼料を食べるようになります。

水槽底の掃除

私たちのフンやエサの食べ残しなどが水槽の底に溜まってくるので、職員さんが毎日きれいに掃除をしてくれるよ。



水槽底の掃除

ポイント

3㎝くらいまで大きくなると、水槽が狭くなってきます。そこで魚の数を数え、適切な数になるよう水槽を分けます。一部は、漁業者が海上のいけすで育てます。

海上での中間育成

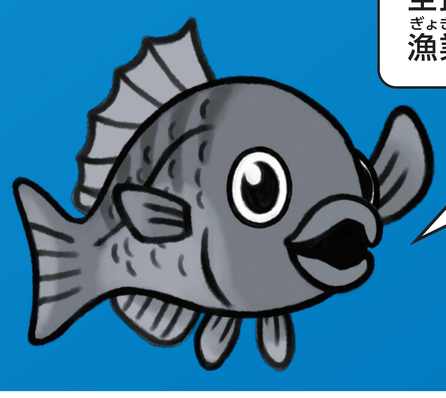
ポイント

この頃は、1日6回に分けて、朝から夕方まで配合飼料を給餌します。稚魚の動きは以前と比べ物にならないくらい速くなっており、配合飼料を給餌するとあっという間に食べつくします。

計数の風景

ポイント

全長5㎝まで育てたクロダイは、富山県の漁業者などに出荷され、放流されます。



達者でな～！

放流されるクロダイ稚魚

ポイント

出荷の際には稚魚を数えます。上の写真のような機械に稚魚を通すことで数をカウントすることができます。